

子どもたち一人一人の国語の力を伸ばすには、どんな授業を考えればいいのでしょうか。
ここでのヒントをもとに、明日からの授業にチャレンジしてください。

さあチャレンジ！

子どもを伸ばす国語授業のヒント ①

学習のステップに合わせた ノート指導

前青山大学講師 岩崎 保

ノートに書かせることをしないという先生はいないでしょう。ただ、書くことを習慣化させ、書いたことが学習に生かせるようにするには、アイデアが必要です。「子どもを伸ばす国語授業のヒント」として、まず「学習のステップに合わせたノート指導」について述べたいと思います。

一 ノート学習の手始めに、ワークシートを利用する

先生の発問を聞いて、何を考えるのか課題がわかると、児童は進んで記録し、確かめようとします。ノートは、そうした児童の学習意欲の表現の土台といえます。しかし、理解が遅れている児童は、すぐにはノートに書き留められません。そうした児童のためには、発問の内容をはっきりと板書して、ノートに記録させるようにしましょう。記録していく間に、学習の方向

がわかってきます。このように、児童が課題を確かめるためにも、ノートは大きな働きをします。

ただ、ノートを活用できるようにするためには、まず、「書き慣れること」が大切です。ノートの大事さや便利さを説明したり、サンプルを提示したりしている先生もおられると思いますが、子どもに任せて真っ白なノートにいきなり書かせるのではなく、まずワークシートを用意し、それから始めてみてはどうでしょう。ノート学習の前段として、ワークシートを使い、書くことの習慣化を図ってみましょう。

二 「読む学習」におけるワークシートの活用のしかた

P21に示したワークシートは、「ふきのとう」(二年上)のシート例です。①は「ふきのとう」を読むために物語の背景をとらえ、季節感をもつための発問を設定しています。

1 まず、題名を読んだから、黒板に設問順に課題を書きます。そして、板書した課題を一斉音読させ、内容を確かめさせます。板書でなく、フラッシュカードにすると、児童の発言の量や分類によってシートを移動できるので、学習の整理やまとめに便利です。

2 設問に沿って、「今日から『ふきのとう』のお話を読みます。初めに名前を書いてから②の●を考えてください。わかったことをシートに書いてみましょう。」と問いかけます。書き終わった児童から顔が上がるでしょう。学習状況がつかめますから、机間指導による個別の学習支援も可能となります。児童が書いた内容によって、発言の順番を配慮することにも活用できます。

3 ③の課題は、読むための導入として物語の季節を知る「春見つけ」ですから、たくさん気がつく児童と少ない

児童がいるはず。少ない児童から指名し、できるだけ多くの児童に発言のチャンスを与えましょう。課題●●についても同様に、児童の発言を先生が板書し、興味・関心をつかむようにしましょう。

4 ワークシート②は、物語の展開を的確に読み取るためのシートです。①の課題は、「ふきのとう・竹のはっぱ・雪・お日さま・春風」の登場人物を読み取る課題です。●は「竹やぶ」で場所 ●は「冬と春」の季節を間違いないく読み取る課題です。全員に正しく理解してほしい事柄な

ので、一つずつシートの記述を確かめさせ、間違えていたら訂正させましょう。④は、初発の感想に当たるものです。児童の興味・関心の傾向がわかるので、後の学習展開で児童を生かす指針ともなります。

ワークシートは、叙述を読んで、想像して考えをめぐらしたり、主人公や情景描写に共感して感想や意見を確かめたりするための学習ノートなのです。いずれ、自分が発想するノートを作るための見本となることを期待しているのです。



1 ふきのとう

●「春」ときいて、どんなことをおもいますか。じゆうにかいてみましょう。

●「ふきのとう」について知っていることをかきましょ。

●学校やのはらや、こうえんで見つけた春をカードにかきましょう。

春を見つけた (名まえ)

▲ふきのとう ワークシート①

2 ふきのとう

●「ふきのとう」のおはなしに出てくるものをかきましょう。

●おはなしのばしょはどこですか。

●おはなしのあいだに、きせつはどのようにかわりましたか。

●おはなしのおもしろかったところ、すきなところはどこですか。

▲ふきのとう ワークシート②



三「書く学習」におけるワークシートの活用のしかた

児童は、文章を読んで直感的に思ったこと、友達の話や聞いて思いついたことなど、その場その場の思いつきを自分の考えとして発言することが多くあります。こつた児童の考えには、的外れや思い違いの意見も多く見られ、文章を書くときのテーマや構成の設定にも影響してきます。思いつきの考えを確かな意見として自覚させ、表現させるためにも、ノート学習が重要になってきます。

いきなり「文を書きなさい」と指示するのではなく、「ここでもワークシートを用意してはどうでしょう。P.23にあるのは、「生活を見つめて」(四年下)の中で、アンケート調査の結果を基に「報告文を書く」学習シートです。

1 ①の●は、アンケートの設問を作るために、まず自分の生活を振り返り、回答を予想するシートになっています。●は、自分が調べたい課題を決め、答えやすく整理しやすい設問を作るための準備になります。

2 ④は、アンケートの結果を設問の事柄ごとに整理し、自分の意見や感想をまとめ、報告文を書く準備のためのシートです。このようなシートを用いることで、全員の児童に書き上げた成就感を味わわせることができます。

書く材料が整ったなら、グラフや集計資料などを入れた下書きをして、仕上げるに近づけます。

四 ワークシートからノート作りへ

ワークシートの次の段階として、「先生が例示するノート作り」の事例を示します。

学級のノート学習は、「発問・応答」だけの一問一答学習からの脱却です。児童に向かって、「書けることのすばらしさ」

六年生の説明文の読解の事例として

第一段落で筆者が投げかけている問題は
事例を挙げて説明している段落を要約すると
筆者の説明で初めて知った事柄は
結論を説明している段落を要約すると
この説明文に対するあなたの意見は……など

142

●生活を見つめて

自分の経験や生活をふり返って、答えを予想してかたんに書いてみましょう。

課題 四季一組の読書生活

① どの本を読んでいるか。

② どんな本を読んでいるか。

③ どの本を読んでいるか。

④ どの本を読んでいるか。

⑤ どの本を読んでいるか。

⑥ どの本を読んでいるか。

⑦ どの本を読んでいるか。

⑧ どの本を読んでいるか。

⑨ どの本を読んでいるか。

⑩ どの本を読んでいるか。

⑪ どの本を読んでいるか。

⑫ どの本を読んでいるか。

⑬ どの本を読んでいるか。

⑭ どの本を読んでいるか。

⑮ どの本を読んでいるか。

⑯ どの本を読んでいるか。

⑰ どの本を読んでいるか。

⑱ どの本を読んでいるか。

⑲ どの本を読んでいるか。

⑳ どの本を読んでいるか。

㉑ どの本を読んでいるか。

㉒ どの本を読んでいるか。

㉓ どの本を読んでいるか。

㉔ どの本を読んでいるか。

㉕ どの本を読んでいるか。

㉖ どの本を読んでいるか。

㉗ どの本を読んでいるか。

㉘ どの本を読んでいるか。

㉙ どの本を読んでいるか。

㉚ どの本を読んでいるか。

㉛ どの本を読んでいるか。

㉜ どの本を読んでいるか。

㉝ どの本を読んでいるか。

㉞ どの本を読んでいるか。

㉟ どの本を読んでいるか。

㊱ どの本を読んでいるか。

㊲ どの本を読んでいるか。

㊳ どの本を読んでいるか。

㊴ どの本を読んでいるか。

㊵ どの本を読んでいるか。

㊶ どの本を読んでいるか。

㊷ どの本を読んでいるか。

㊸ どの本を読んでいるか。

㊹ どの本を読んでいるか。

㊺ どの本を読んでいるか。

㊻ どの本を読んでいるか。

㊼ どの本を読んでいるか。

㊽ どの本を読んでいるか。

㊾ どの本を読んでいるか。

㊿ どの本を読んでいるか。

予想した答え

予想した答え

▲生活を見つめて ワークシート①

145

●生活を見つめて

アンケートの結果を、しつもんしながらまとめてみましょう。

① どの本を読んでいるか。

② どんな本を読んでいるか。

③ どの本を読んでいるか。

④ どの本を読んでいるか。

⑤ どの本を読んでいるか。

⑥ どの本を読んでいるか。

⑦ どの本を読んでいるか。

⑧ どの本を読んでいるか。

⑨ どの本を読んでいるか。

⑩ どの本を読んでいるか。

⑪ どの本を読んでいるか。

⑫ どの本を読んでいるか。

⑬ どの本を読んでいるか。

⑭ どの本を読んでいるか。

⑮ どの本を読んでいるか。

⑯ どの本を読んでいるか。

⑰ どの本を読んでいるか。

⑱ どの本を読んでいるか。

⑲ どの本を読んでいるか。

⑳ どの本を読んでいるか。

㉑ どの本を読んでいるか。

㉒ どの本を読んでいるか。

㉓ どの本を読んでいるか。

㉔ どの本を読んでいるか。

㉕ どの本を読んでいるか。

㉖ どの本を読んでいるか。

㉗ どの本を読んでいるか。

㉘ どの本を読んでいるか。

㉙ どの本を読んでいるか。

㉚ どの本を読んでいるか。

㉛ どの本を読んでいるか。

㉜ どの本を読んでいるか。

㉝ どの本を読んでいるか。

㉞ どの本を読んでいるか。

㉟ どの本を読んでいるか。

㊱ どの本を読んでいるか。

㊲ どの本を読んでいるか。

㊳ どの本を読んでいるか。

㊴ どの本を読んでいるか。

㊵ どの本を読んでいるか。

㊶ どの本を読んでいるか。

㊷ どの本を読んでいるか。

㊸ どの本を読んでいるか。

㊹ どの本を読んでいるか。

㊺ どの本を読んでいるか。

㊻ どの本を読んでいるか。

㊼ どの本を読んでいるか。

㊽ どの本を読んでいるか。

㊾ どの本を読んでいるか。

㊿ どの本を読んでいるか。

予想した答え

予想した答え

▲生活を見つめて ワークシート④

「書き慣れると、考えることがわかってうれしくなる」ことを投げかけ、自覚させるようにしましょう。

1 ノートに書く項目は、単元や教材ごとにプリントしたり板書したりして、児童の迷いを取り除くようにしましょう。「考える事柄」を明確にし、それを「どう書いたらいいか」を知らせ、児童が安心して学習できるようにしたいものです。「書く事柄」を単元や教材によって先生の願うノートの形にアレンジしたり、ワークシートの設問を抜き出し、りして、設定することも考えましょう。

基本的な項目として

○単元名 ○教材名 ○日時

新出文字・漢字調べ、難しい語句の意味調べ

初発の感想・意見、あらすじの記述

学習の記録

(予想したこと、学習したこと、気づいたこと、復習したこと、大事な文を視写したこと)

作品の主題・趣旨・意図

読後感想の記述……など

2 さらに、学習予定表を作成し、プリントしてノートに貼らせておく、学習展開とノートに記録する事柄の順序性を理解させられ、主体的学習力を育てます。

学年の発達段階や学習領域によって、発問に違いがあることは当然で、ノートに記録する事柄もおのずと異なっています。そうした変化に対応する能力、ノートに整理しながら思考する学習習慣は、国語力を高めると同時に、他の教科においても、学習資料を収集・発信する基礎学力になることは明白です。例えば、算数の文章題をノートに視写させ、文章の要点を考えて計算させることも有効となります。

ワークシート例は、いずれも「小学校国語ワークシート集」(光村図書)から引用したものです。